



環境と社会をよくする取組を
環境大臣賞として表彰します

- 募集対象 環境と社会により暮らしを実現するための活動・ビジネスに取り組む日本国内の企業・学校・NPO・自治体・地域・個人。
- 応募方法 グッドライフアワード公式サイトの特設フォームによりご応募ください。
- 応募締め切り **2020年9月23日(水)**
- 応募先 **entry@goodlifeaward.jp**
- お問い合わせ info@goodlifeaward.jp
03-6804-3858 (9:30~17:30)

選考スケジュール

9月23日(水).....応募締切
11月中旬.....各賞発表
12月5日(土).....表彰式

第8回

環境省 グッドライフアワード

[対象] 企業・学校・NPO・自治体・地域・個人



グッドライフアワード公式サイト [グッドライフアワード](http://www.goodlifeaward.jp) または <http://www.goodlifeaward.jp>

あなたのエントリー、お待ちしております！



未来をつくるグッドライフな取組が大集合!



環境大臣賞「最優秀賞」を受賞した取組

企業



発電者と消費者、自然エネルギーと消費地をつなぐ「顔の見える電力」

第7回グッドライフアワード環境大臣賞最優秀賞受賞
みんな電力株式会社

「ブロックチェーン」技術を使ったシステムを開発、全国各地の再生可能エネルギー発電所から消費者が応援したい事業者を自由に選んで購入できる電力小売事業を展開。地域の自然資源を生かして経済が回る仕組みづくりにより再生可能エネルギーの利用拡大を進めています。



NPO



リサイクル率81%達成、小さな町から世界に「ごみゼロの新しい暮らし」を発信中です!

第6回グッドライフアワード環境大臣賞最優秀賞受賞
特定非営利活動法人ゼロ・ウェイストアカデミー

徳島県の山あいの小さな町・上勝町では、日本で初めて2020年に町全体でごみをゼロにする「ゼロ・ウェイスト」を宣言。生ゴミはすべて自宅のコンポストで処理。それ以外のごみを徹底的に分別し回収するごみステーションは住民の集まるコミュニケーションの場に進化しています。



企業、学校、NPO、自治体、地域コミュニティ、個人…
多彩な顔ぶれが、環境大臣賞を受賞しています。

グッドライフアワードは、日本発の SDGs 構想として環境省が提唱している「地域循環共生圏」の考え方にに基づき、地域の活力を最大限に発揮し、環境と社会に良いグラスルーツの活動を応援するプロジェクトです。
未来をつくるグッドライフな取組を「環境大臣賞」として表彰し、ライフスタイルのイノベーションを目指します。

企業



災害備蓄食用のおいしい「パンの缶詰」を、無償で世界の被災地に届けています!

第5回グッドライフアワード環境大臣賞最優秀賞受賞
株式会社パン・アキモト

栃木県那須塩原市のパン屋さんが、災害時の備蓄食となる賞味期限3年の「パンの缶詰」を開発。賞味期限が残り1年になると回収して無償で国内外の災害被災地や、食糧難問題を抱える国や地域に届ける「救缶鳥プロジェクト」を展開しています。



団体



障がい者の仕事が高く評価される「自然栽培」の農業を推進!

第4回グッドライフアワード環境大臣賞最優秀賞
一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会

自然栽培とは、農薬や肥料、除草剤などを一切使わない農法のこと。米や野菜、果実など、工作放棄地で付加価値の高い作物をつくり、障がい者の雇用を生み出す取組です。受賞後、連携する施設が急増中。農福連携のネットワークが広がっています。



団体



海水温上昇でダメージを受けたサンゴを地元の漁協やダイバーたちと共に再生!

第3回グッドライフアワード環境大臣賞最優秀賞
チーム美らサンゴ

地元漁協や企業などが連携。沖縄県恩納村で、ダイビングなどを楽しみながら養殖したサンゴを植え付けるイベントを定期的開催し、海水温上昇でダメージを受けたサンゴの再生に取り組んでいます。受賞後、協賛企業が増えるなど活動の幅がさらに広がっています。



企業



秋田の「山の名人」による天然山菜の「採取代行」サービスで山村を活性化!

第2回グッドライフアワード環境大臣賞最優秀賞受賞
あきた森の宅配便

地元の高齢者を中心とした「山の名人」が、注文に応じて天然山菜を採取。全国に届けるサービスです。受賞後、テレビをはじめ多くのメディアからの取材が激増。天然なので採れる量には限りがありますが、応援してくれるユーザー(秋田の山菜ファン)が増えました。



NPO



三陸でボランティアのダイバーを集め漁港の海底から震災がれきを撤去!

第1回グッドライフアワード環境大臣賞最優秀賞受賞
三陸ボランティアダイバーズ

岩手県大船渡市などを中心に、海底の震災がれき撤去作業などのボランティア活動を続けています。環境大臣賞受賞によって地元漁協との信頼関係が深まり、特産のホタテをいただけるレストランの運営など、さらに社会を元気にする取組へと発展しつつあります。



グッドライフアワードの受賞取組は、環境白書や環境省のPR誌でも数多く紹介されています。

第7回の環境大臣賞の受賞取組



環境大臣賞「優秀賞」を受賞した取組



スマホアプリ「TABETE」を通じて廃棄になりそうな食品を安価に提供、食品ロスを削減！

株式会社コックッキング

飲食店で余った料理や食品をアプリを通じてお得な価格で消費者に提供。飲食店オーナーも使いやすい設計により導入が進むなどフードロスの削減に寄与しています。



小学校跡地につくったバイオマスセンターを拠点に、資源循環型のまちづくりを推進！

みやま市

バイオマスセンターで家庭から出た生ごみやし尿などを集め液肥と電力を生産し、有機農法による地元の農作物の生産販売を推進するなど、資源循環型のまちづくりを展開中です。



福島から“おいしい革命”を目指す青空レストラン ～ Food Camp ～

株式会社 孫の手

地域の旬の食材をおいしく食べるツアーを開催、生産者と消費者の顔が見える関係を構築。フードマイルを減らし地域の資産を生かした循環経済を推進しています！

第1回からの環境大臣賞受賞取組からご紹介



地域の移住体験を「おばあちゃんの栗山」の保全に組合せ、民泊活性化にもつなげる！

熊本県菊池市

人手が足りない栗山と、移住体験を組み合わせ、都市部の若者がおばあちゃんの栗拾いをサポートしながら地域を体験。民泊を活性化して、地域を創生しています。



東京で新しい林業を目指し木のある暮らしと森の価値を発信！

株式会社東京チェンソーズ

平均年齢30歳代前半の若者が集結。会員制森林育成体験プログラムなど、東京の木でつくられた製品を増やし、森林の価値を高める取組を行っています。



お寺の「おそなえ」を「おさがり」として困窮家庭に「おすそわけ」しています！

特定非営利活動法人おてらおやつクラブ

全国約1200の寺院がネットワークして、お寺に集まる「おそなえ」を、子ども食堂や学習支援団体、経済的に困難な状況にある家庭などへ「おすそわけ」。活動はさらに大きく広がっています。



環境大臣賞「部門賞」を受賞した取組



世界初！環境にやさしい石けん系消火剤でインドネシアの森林を守る

シャボン玉石けん株式会社

地球温暖化に深刻な影響を与える森林・泥炭火災の被害を大きく受けているインドネシアで、環境負荷が低い石けん系消火剤の普及に取組み、森林の消失を減らしCO₂削減の貢献！



間伐材を活用した文具づくりで森と地域を元気にする「結の森プロジェクト」

コクヨ株式会社

高知県の四万十川中流域の森林保全活動を地元の森林組合、自治体、学校などと協力して実施。間伐材を活用した文具で地元の経済を活性化を目指しています！



親子2世代による6次産業化を目指した次世代里山利用デザイン・プロジェクト

新渡戸文化学園

東京都檜原村で都会で暮らす親子2世代で自然とふれあいながら特産品の6次産業化を展開。エンカルな消費意識を育みながら持続可能な里山の利用を推進！



肩楽食品をネットで消費者とマッチング、社会貢献型フードシェアリングプラットフォーム! KURADASHI.jp

グラウクス株式会社 住友商事株式会社

商社と連携し廃棄されてしまう食品を、インターネットを活用して迅速に消費者ニーズとマッチングさせることで、フードロスを大幅に削減する仕組みを展開しています。



森の恵みを実感、未来の地球を考える講座で、「東京の野生児」を育む！

土屋一昭

葉っぱや木のかけらといった身近な自然の材料で「未来の地球を作る」など、都会の子どもたちを「野生児」として育むための碧実な取組を続けています。



官民が連携して自治体新電力を設立、再生可能エネルギーの地産地消を推進！

ローカルエナジー株式会社・鳥取県米子市

自治体と地元の企業が連携して、再生可能エネルギーによるエネルギーの地産地消に取り組み、安定したエネルギー供給を実現。環境と経済の両面で地域活性化に貢献しています。



地域新電力事業のサポート！エコな地域循環共生圏の担い手作り

一般社団法人ローカルグッド創成支援機構

東日本大震災の復興プロジェクトで得られた地域と企業を連携させるメソッドをもとに、地域の経済的社会的自立を支援するプログラムを展開。地域活性化に取り組んでいます！



ごみ拾いはスポーツだ！スポGOMI大会

一般社団法人ソーシャルスポーツイニシアチブ

既存のごみ拾いにスポーツ的な要素を組み込み、子どもから老人まで楽しく参加できる大会を日本全国から世界にも普及させ、ゴミを捨てない循環型のライフスタイルを推進！



地域経済圏の活性化を目指す「奥飛騨・高山自然エネルギーの里構想」始動！

シン・エナジー株式会社 奥飛騨自然エネルギー合同会社 奥飛騨水力発電株式会社 飛騨高山グリーンヒート合同会社

地元の4企業が連携、地熱、小水力、バイオマスなど多様な発電方式で再生可能エネルギーによる発電事業を展開。地域経済圏の活性化を目指しています！



里山の森を知り、森を守る取組として、若者たちが間伐などの作業を実践！

緑のダム北相模

相模湖畔（神奈川県）の森で、荒廃する人工林を整備するボランティア活動。中学生や高校生（OBの若者たち）が、間伐などの作業を行っています。



津波で壊滅した宮城県名取市の海岸林を10年がかりで再生する植林を推進！

公益財団法人オイスカ東日本

大震災の津波で失われた宮城県名取市の海岸林再生する取組です。10年間で100haものクロマツ林を再生しようという壮大なプロジェクトです！



地域資源のヒョウタンを活用して高校生が町の活性化に挑戦中！

岐阜県立大垣養老高等学校 瓢箪倶楽部秀吉

通学に使う養老鉄道廃線の危機を救うために、高校の有志サークルが一念発起、地元特産の瓢箪（ヒョウタン）を軸にした地域活性化に取り組んでいます。

その他の環境大臣賞及び実行委員会特別賞の受賞取組は、公式サイトでご紹介しています。
https://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/goodlifeaward/report.html



あなたのやっていること、実は、環境大臣賞候補です。

第8回 グッドライフアワード表彰内容

環境大臣賞 総合賞



環境大臣賞 最優秀賞 (1取組)
副賞：記念品、表彰状贈呈／
取材ページ・プロモーションビデオの制作・公開



環境大臣賞 優秀賞 (3取組)
副賞：記念品、表彰状贈呈／
取材ページ・プロモーションビデオの制作・公開

環境大臣賞 部門賞

実施主体別に優れた取組を選んで表彰します。(各1 取組程度 副賞：表彰状贈呈／取材ページ・プロモーションビデオの制作・公開)



企業部門
CSRから製品・サービスまで。
企業が実施する取組。



学校部門
小学校から大学まで。
サークルなどでの取組でもOK。



NPO・任意団体部門
継続的な取組からイベントまで。
団体が実施する取組。



自治体部門
都道府県や市町村が
中心となって実施する取組。



地域コミュニティ部門
地域のグループなどが
中心となって実施する取組。



個人部門
家庭や個人で行っている
環境と社会により取組。

実行委員会特別賞

実行委員の専門分野などに関わるテーマごとに、優れた取組を選んで表彰します。



サステナブルデザイン賞
益田文和 実行委員長
(デザインコンサルタント)
サステナブル(持続可能)な新しい暮らし方をデザインする
取組を表彰します。



子どもと親子のエコ未来賞
大葉ナナコ 実行委員
(公益社団法人 園生学協会代表理事・パースコーディネーター)
子どもは未来のオトナたち! ハッピーな地球の未来、
エコな社会をめざす子どもや親子の取組を表彰します。



エシカル賞
末吉里花 実行委員
(一般社団法人 エシカル協会代表理事、フリーアナウンサー)
環境だけでなく、人や社会、地域に思いやりのある
「エシカル」な取組を表彰します。



環境と福祉賞
炭谷茂 実行委員
(社会福祉法人 恩賜財団済生会 理事長)
福祉の向上とともに、エコロジーな社会づくりにも
貢献する取組を表彰します。



環境地域ブランディング賞
高橋俊宏 実行委員
(株式会社ディスカバー・ジャパン 取締役 編集長)
地域の知恵や考え方を大切にしたい取組を表彰します。



森里川海賞
中井徳太郎 実行委員
(株式会社森里川海 総合環境政策統括官)
森里川海とそのつながりを豊かに保ち、その恵みを引き出す取組や、一人
一人が森里川海の恵みを支える社会づくりに貢献する取組を表彰します。



環境社会イノベーション賞
藤野純一 実行委員
(公益財団法人 地球環境戦略研究機関 上席研究員)
環境保全に貢献しつつ、優れた社会イノベーションを
実現する取組を表彰します。



環境アート&デザイン賞
南谷えり子 実行委員
(元エルジャゴン編集長)
自由な発想とアイデアにあふれ、
遊び心のある環境保護の取組を表彰します。



SDGsビジネス賞
森 摂 実行委員
(オルタナ編集長)
SDGs「アウトサイドイン」の思考に基づき、社会課題の
解決を起点にしたビジネスの取組を表彰します。



総合プロデューサー
谷中修吾 氏
(BBT大学グローバル経営学科長・教授、一般社団法人INSPIRE 代表理事)
アワードの受賞は、活動を知ってもらって、
社会にインパクトを広げるチャンスです!

地域循環共生圏の実現に向けて

環境省では持続可能な循環型社会の実現に向けて、世界共通の目標であるSDGsのもと、
「地域循環共生圏」をローカルSDGsと位置づけ、
普及啓発と自立分散型社会形成サポートの両面から取り組んでいます。

【地域循環共生圏について】

「地域循環共生圏」は、各地域がその特性を活かした強みを発揮し、エネルギーや食の地産地消など、地域ごとに異なる資源(自然、人材、資金など)が循環する自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じた様々な資源を補完し支え合う考え方です。各地域において新たなバリューチェーンを生み出し、農山漁村も都市も生かしながら、我が国の地域の活力を最大限に発揮することを目指します。

